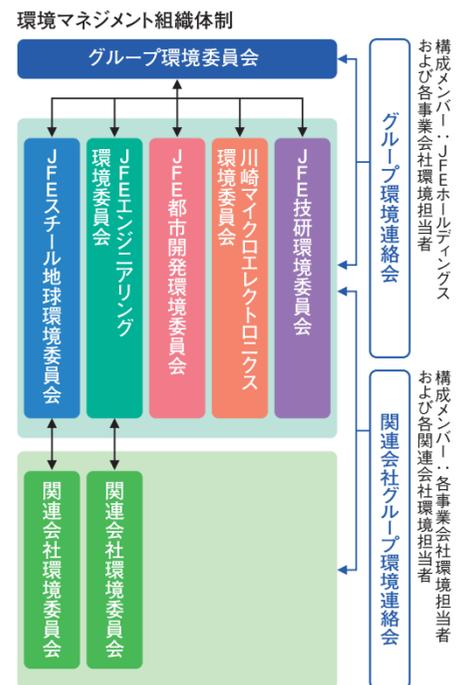


環境マネジメント

環境マネジメント体制の構築・運用状況

JFEグループは、「グループCSR会議」のもと、JFEホールディングス社長を議長とする「グループ環境委員会」を設置するとともに、事業会社・関連会社にも「環境委員会」を設置し、環境目標の設定、環境目標の進捗状況チェック、グループ全体の環境パフォーマンスなど、環境に関する諸問題の解決に取り組んでいます。

さらに、JFEホールディングスと5事業会社



グループ環境委員会

議長：JFEホールディングス社長
メンバー：ホールディングス役員、事業会社環境担当役員

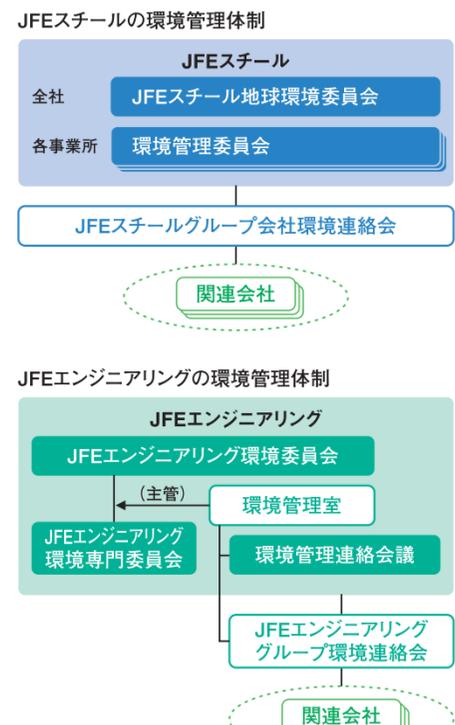
環境委員会（事業会社）

委員長：事業会社社長または環境担当役員
メンバー：関連部門長、各事業所環境担当責任者

環境委員会（関連会社）

委員長：関連会社環境担当役員
メンバー：関連会社関連部門長

社の環境担当者間で「グループ環境連絡会」を設置し、環境についてのグループ内の取り組みの水平展開、レベルアップを図っています。2007年3月に「事業者の公害防止に関する環境管理ガイドライン」が発行されましたが、JFEでは、これまでの取り組みをガイドラインに照らして評価することで環境管理のさらなるレベルアップをめざしています。



JFEスチールグループ会社環境連絡会

環境異常抑止システム（環境情報公開）

JFEスチール東日本製鉄所千葉地区では、2004年12月の水質にかかわる環境問題を認識して以降、環境管理体制の抜本的建て直しに総力を挙げて取り組んできました。その一環として、これまで培ったノウハウを環境異常抑止システムとして構築中です。また、環境情報のリアルタイム公開機能が2007年3月に完成し、一般公開を開始しました。



環境異常抑止システム

- 設置場所：千葉地区 見学センター内
- (1) 環境への取り組み：環境問題発生以降、弊社が取り組んできた活動のご紹介
 - (2) 環境データ
 - ① 大気環境測定結果
NOx、SOx（12の煙突）
 - ② 排水水質測定結果
COD、排水量（7つの排水処理設備）



開示データの例

環境会計

2006年度は、環境関連設備投資額が135億円、費用は748億円で、全設備投資に占める環境関連設備投資の割合は約

10%です。なお、2006年度の活動の結果、省エネルギー効果は金額換算で14億円と見積もっています。

環境保全コスト

	主な内容	（億円）	
		投資額	費用額
自社の業務にかかわるもの	マネジメント	—	23
	地球温暖化防止	33	152
	資源の有効活用	12	175
	環境保全	90	330
	その他	—	17
お客様や一般社会の活動にかかわるもの	研究開発	—	45
	社会活動	—	6
合計		135	748

ここに掲載している環境会計は以下の考えに基づいて算出しています。
対象期間：2006年4月～2007年3月
集計対象：コストは、JFEの製鉄所における環境関連投資および費用。ただし、研究開発については全社分としています。
効果については推計に基づく「みなし効果」、「リスク回避効果」などは算定していません。
※ プロセス全体が従来に比べて省エネルギーとなった設備投資でも、老朽更新など他に主目的がある設備投資は含めていません。

システムの一般見学について

■ 受付時間
9時～17時
(土・休日を除く)

■ お問い合わせ
お申し込み先
JFEスチール株式会社
東日本製鉄所
(千葉地区)
環境管理部
Tel:043-262-2371
Fax:043-262-2756

詳しくは

水質にかかわる環境問題については以下をご覧ください
<http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/chiba/environment2.html>

2006年度環境投資

135
億円

2006年度環境費用

748
億円